

COMESA月報（2019年1月）

1. 主な動き

（1）ソマリアはCOMESA地域への投資を模索（2019.1.10）

Ahmed Abdirahman Sheikh Nur 駐ザンビア・ソマリア臨時代理大使は、カプウェプウェCOMESA事務局長を表敬訪問した際、ソマリアはCOMESA域内への投資の分野を模索中であると明らかにした。アフマド大使によれば、ソマリアは、家畜、漁業、及びインフラ開発に関心がある、同国には5000万頭の家畜がいるため、COMESA域内外での皮革分野に大きく貢献できると述べた。カプウェプウェCOMESA事務局長は、ソマリアによる投資ポートフォリオを支援することにより、若者や女性の雇用創出を助けることになり、特にCOMESAは原材料に付加価値をもたらす投資を促進している、と述べた。

（2）RAERESAがEASA-IO地域の再生可能エネルギーとエネルギー効率戦略の開発のためにコンサルタントを指名（2019.1.23）

東南部アフリカエネルギー規制地域協会（RAERESA）は、東南部アフリカ及びインド洋地域（EASA-IO）における合成再生可能エネルギーとエネルギー効率戦略の開発のためにザンビアの企業を指名した。ザンビア・エネルギー環境エンジニアリング・センター（CEEZ）に対して124,506ドル相当の短期コンサル契約が授与された。RAERESAの代表は、地域は、地域経済の発展のためにエネルギーを供給する施設の開発を急いでいることから、同社に対して、正確かつ迅速に作業を促進させるよう求めた。東南部アフリカ及びインド洋地域では、エネルギーセクターにおける不均衡の一つに、合成再生可能エネルギーとエネルギー効率戦略が存在しないことが挙げられる。したがって、一度戦略が開発されれば、地域のクリーン・エネルギーの目標達成を支援するために、再生可能エネルギーとエネルギー効率の開発の中で、枠組みを統合させることが求められる。

（3）COMESA裁判所はデジタル司法制度に移行（2019.1.31）

COMESA司法裁判所は、デジタル証明管理の分野を先導する世界的プロバイダーであるCaseLinesに加入し、ペーパーレスのデジタル法廷を実施している。法の支配における向上を目的として、CaseLinesはアフリカの司法の質と効率性を変化させることによって国家がSDG16の目標を達成することを支援する重要なツールである。CaseLinesは、マルチメディア・エビデンスを含む完全にデジタル化されたものの組み合わせを作り出し、提示することを可能とするツールであり、完全にデジタル化されたプラットフォームを導入することにより、紙の必要性を削減する。そのツールとは、例えば公判前準備とネットワーク上の公判を行う安全性が確認されたテレビ会議のコラボレーションツールである。

（4）COMESAは、航空約束の署名のために加盟国への働きかけを強化する（COMESA ニュースレター573号（2019.2.19）

COMESAは、今年、COMESA21加盟国の中の15カ国が「アフリカ単一航空市場の実施に関する厳粛約束（SAATM）」に署名することを確保する支援活動を強化する。COMESA加盟国の中で同約束に署名したのはエジプト、エチオピア、エスワティニ、ケニア、ルワンダ及びジンバブエの6カ国のみである。2019年1月28日から29日、アフリカ航空産業関係者はセネガルのダカールにおいて、SAATM実施のためのロードマップを2019年に終了し、実行することに合意した、また、ここでは、SAATMのアフリカに対する社会的経済的利益に関する55カ国の研究の早期完了の必要性についても合意した。

アフリカ単一航空市場は2018年1月AU首脳らによって立ち上がった。その後、2018年～19年の優先共同活動プランが航空産業関係者によって発展された。COMESAのシニア運輸経済専門家によれば、2018年～2019年の優先活動の中の重要な活動の一つは、アフリカ民間航空委員会（AFCAC）及び地域経済共同体間の協力合意文書への署名と実施であった。COMESAは、SAATMの設立に関するAFCACとの合意文書に2018年、署名している。COMESAは、民間航空の長、共同技術委員会及びインフラ大臣会合が関与するSAATMの法定会合でSAATMの実施のためのロビー活動強化を行う予定である。

2. 今後の予定

3月25日～29日 産業に関する専門家及び閣僚会合（於：ナイロビ）

（出典）COMESAウェブサイト(<http://www.comesa.int>) より